



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411

ご卒業おめでとうございます！

校長 三原 洋一

いよいよ本日、令和6年度の卒業証書授与式を挙行政いたします。小学部54名、中学部28名、高等部25名、計107名の生徒が、ワシントン日本語学校の各部を卒業します。一人ひとりの努力と成長を称え、心からお祝い申し上げます。

本校は、1958年に開校した、世界で最も歴史のある補習授業校です。今年の卒業生を含めると、これまでに小学部2,025人、中学部983人、高等部356人が卒業しました。



1958年開校当時

本校では、「国際感覚を身につけた、人間性豊かな児童・生徒を育成する」という教育目標を大切にしてきました。卒業生の皆さんは、その目標を胸に、各部の最上級生として様々な場面で立派な姿を見せてくれました。日々努力を重ね、現地校と補習授業校の両立を図りながら、苦しいことや辛いことを乗り

越え、大きく成長したことは間違いありません。歴史と伝統あるワシントン日本語学校で学んだことに誇りを持ち、自信をもって堂々と卒業して欲しいと思います。

4月から、高等部の皆さんは、本校を立ちます。小学部

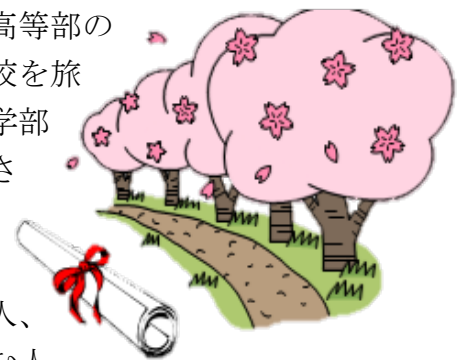
・中学部の皆さんは、本校の中学部・高等部へ進学する人、新たな道へ進む人

と、それぞれの進路に向かいます。どこで学びを続けるにせよ、一人ひとりがしっかりと志を持ち、66年の歴史を誇る本校で学んだことを自信に変え、力強く前進してほしいと願っています。

また、新たなステージへと進む卒業生の皆さんの幸せを心から願うとともに、これまで支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。また、卒業生の皆さんのさらなる成長のために、引き続き保護者の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

在校生の皆さんも、新学期までのわずかな時間の中で、新しい学年への意識を高め、心の準備をしっかりと整えて、新学期を迎えてください。

最後に、本年度も、保護者の皆様より、本校への温かく力強いご支援・ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



在校生代表の送辞を紹介します。

卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。高等部一年生徒会委員のニカソン愛子です。今日、皆様の卒業をお祝いできることを大変光栄に思います。

卒業生にとってこの1年は特に早く感じられたと思います。私は去年、中学を卒業した時のことをはっきりと記憶していますが、皆さんも胸いっぱいな気持ちでこの会場に足を踏み入れたことでしょう。

小学6年生の皆さん、これから始まる中学校生活では、今まで以上にたくさんの挑戦が待っています。でも、皆さんはこれまでにたくさんの経験を積み重ねてきました。運動会では、小学部のリーダーとして活躍してくれましたね。生徒会でも美化月間で貢献してくれました。その力を信じて、新しい環境にどんどん飛び込んでいってください。

中学3年生の皆さん、これから新たな高校生活が待っています。皆さんは、とても気合が入っていて、運動会でも応援団の一員としても団結力を見せてくれました。生徒会の会議での積極的な姿にも成長を感じました。皆さんなら、どんな困難も乗り越えられると信じています。これからも多くの素晴らしい経験を積んで、成長し続けることを心から願っています。

そして高校2年生の皆さん、私たちにとって、先輩方は常に憧れの存在でした。先輩方との一番印象深い思い出は運動会の応援団としての強い団結心でした。リーダーとして、他の学年を引っ張って行く姿はとても頼もしく、おかげで運動会は皆にとって楽しい思い出になりました。最高学年として高いレベルを維持しながらも、後輩に対して優しく

接してくださる姿が印象的で、私たちも日々努力して先輩方のように成長していきたいと思っています。今まで本当にお疲れさまでした。日本語学校と現地校を両立させる大変さを生徒の一人一人が実感していますが、笑顔を絶やさず、その困難を乗り越えて卒業されたことを心から尊敬しています。

在校生として、先輩方が築いてきた校風を大切に、今後も受け継いで成長を続けていきたいと思っています。皆さんが歩む次の道が素晴らしいものになることを心より願っています。

以上をもちまして、私からの送辞とさせていただきます。

令和7年3月15日

在校生代表 高等部一年
ニカソン愛子



4月の行事予定

- 5日 前期始業式
学級懇談会（役員決め）
- 12日 幼稚部年中・小学部1年入学式
幼稚部年長始業日
- 19日 特別総会
- 26日 避難訓練（不審者侵入）
転入学説明会・面接

離任のごあいさつ

このたび、任期を終え、日本へ帰国する運びとなりました。ワシントン日本語学校の校長として過ごしたこの2年間は、私にとってかけがえのない時間となりました。



これまで、日本で11年間、そしてワシントンで2年間、計13年間にわたり校長として務めてまいりました。その締めくくりの場として、歴史と伝統を誇るワシントン日本語学校で皆さまとともに歩めたことを、心より感謝申し上げます。

ワシントンD.C.は、全米においても中心的な街であり、世界の中心と言っても過言ではありません。そのような特別な場所で、日本語教育を通じてグローバルな人材を育成する本校の存在は、大きな意義をもっています。そして、この学校を支え、運営に尽力されている栗原委員長をはじめとする管理運営委員の皆様、そして保護者の皆様の熱意と努力には、心から敬意を表します。皆さまの支えがあるからこそ、本校は子どもたちの成長の場として、これほどまでに充実した環境を提供できているのだと思います。

この2年間、微力ながらも、子どもたちの成長のために「良さを见つけて褒めて伸ばす」というスローガンのもと、より良い学校づくりと授業改善に取り組んでまいりました。子どもたちが自信をもち、主体的に学ぶ姿勢を育むことができるよう、先生方とともに考え、実践を重ねてきたことは、私にとって大きな喜びであり、学びの機会でもありました。

そして、私は校長として、決してすべてにおいて十分であったとは言えませんが、生徒たちが安心して学べる環境を整え、学校がより良い方向へ進む一助となることを常に念頭に置き、尽力してまいりました。

私が敬愛する、ジョン・F・ケネディ大統領は、就任演説の中でこう語っています。

"Ask not what your country can do for you—ask what you can do for your country."

(「アメリカ国民よ。国家が君たちのために何を成し得るかを問うな。君たちが国家のために何を成し得るかを問いなさい。」)

そして、この言葉は、私が自らに問いかけるものです。「私はこの学校のために何を成し得たのか」……わずか2年間で大きな変化をもたらすことはできなかったかもしれませんが、生徒の皆さんのこれからの歩みを少しでも確かなものにするお手伝いができたのであれば、何よりの喜びです。生徒の皆さんが、ワシントン日本語学校で学んだこと、経験したことが、未来の力となり、社会のために貢献する力となることを願ってやみません。

私自身も、この経験を胸に刻み、帰国後は再び山口県宇部市教育委員会において、子どもたちのために力を尽くしていく所存です。これからも、ワシントン日本語学校での経験を大切にしながら、未来を創る子どもたちを応援し続けたいと思います。

結びになりますが、在アメリカ合衆国日本国大使館、商工会、支援企業の皆様、保護者の皆さま、先生方、そして本校を支えてくださるすべての方々の温かいご支援に、深く感謝申し上げます。ワシントン日本語学校のさらなる発展と、皆さまのご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

校長 三原 洋一

